

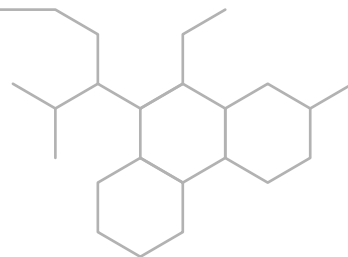


---

会社法第437条および第444条に基づく提供書面

# 第12期 報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



エムスリー株式会社

# 第12期 報告書目次

株主の皆様へ .....	1
会社法第437条および第444条に基づく提供書面	
当社グループの現況に関する事項 .....	2
株式に関する事項 .....	14
新株予約権等に関する事項 .....	15
会社役員に関する事項 .....	19
会計監査人の状況 .....	20
連結貸借対照表 .....	21
連結損益計算書 .....	22
連結株主資本等変動計算書 .....	23
貸借対照表 .....	24
損益計算書 .....	25
株主資本等変動計算書 .....	26
連結計算書類に係る会計監査報告 .....	27
計算書類に係る会計監査報告 .....	28
監査役会の監査報告 .....	29

## (ご参考) 株主メモ

事業報告の「業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要」、連結計算書類の「連結注記表」及び計算書類の「個別注記表」につきましては、法令及び定款第13条の定めに基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <http://corporate.m3.com/>）に掲載することにより、株主の皆様にご提供しています。

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成24年3月期の事業及び業績をご報告いたします。

当社の運営する医療従事者専門サイト「m3.com」の医師会員数は、平成24年3月末時点において前年比1.8万人増の22.3万人に達しました。この「m3.com」を主なプラットフォームとして、当社サービスの顧客への浸透は順調に進んでいます。

創業以来の主力サービスである医薬品プロモーションツール「MR君」は、このたび、武田薬品工業株式会社が3領域での利用を開始する等、拡大が続いています。また、会員医療従事者を対象とした調査サービスは、中核事業として引き続き成長しているほか、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」等の新規サービスの拡充も進めました。

さらに、ITを活用した大規模臨床試験サービスを提供するメビックス株式会社、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社等において、グループ会社における業務展開も進んでいます。加えて、平成23年4月には医療用医薬品に関する広告代理店であるリノ・メディカル株式会社及び200以上の医療系学術団体が利用する会員制コミュニティサイト「学会研究会.jp」を運営する株式会社エムプラスの2社を、平成23年9月には首都圏を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社メディカル・パイロットを、平成23年12月には近畿、中国地方を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社フジ・シー・アール・エスを新たに連結子会社とする等、グループ会社も拡大を進めました。

海外においては、米国の医療従事者向けサイト「MDLinx」の医師会員数が、20.4万人に達し、製薬会社マーケティング支援サービス等の業務展開は順調に進んでいます。また、平成23年8月に英国において18万人以上の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を運営するDoctors.net.uk Limitedを連結子会社とし、英国での製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開を開始しました。さらに、日本、米国、欧州、中国及び韓国に跨る100万人を超える医師パネルを構築し、医療分野においてグローバルな調査サービスの提供を開始する等、調査サービスも拡大しています。

今後も「インターネットを活用して、健康で楽しく長生きできる人を一人でも増やし、不必要な医療コストを一円でも減らす」という当社のミッションの達成に向け、様々な取り組みを行っていき所存です。

引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 谷 村 格

## 【 事業報告 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) 】

### 1. 当社グループの現況に関する事項

#### (1) 事業の経過及び成果

当期においても医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は、当連結会計年度において1.8万人増加の22.3万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの一層の浸透により、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」等の一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」 (<http://www.AskDoctors.jp/>)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon 女性の医学」 (<http://askmn.jp/>)、最新の心理学をベースとした心の健康管理サイト「AskMind★ココロ日記」 (<http://askmd.jp/>)、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」等の新規サービスの拡充も進めています。

さらに、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社（以下「メビックス」という）、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社（以下「エムスリーキャリア」という）、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社（以下「アイチケット」という）に加えて、平成23年4月には医療用医薬品に関する広告代理店であるリノ・メディカル株式会社（以下「リノ・メディカル」という）及び200以上の医療系学術団体が利用する会員制コミュニティサイト「学会研究会.jp」を運営する株式会社エムプラス（旧 学会研究会jp株式会社、以下「エムプラス」という）の2社を、平成23年9月には首都圏を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社メディカル・パイロット（以下「メディカル・パイロット」という）を、平成23年12月には近畿、中国地方を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社フジ・シー・アール・エス（以下「フジ・シー・アール・エス」という）を新たに連結子会社とする等、グループ会社も拡大しています。

一方海外においては、米国で、当連結会計年度において、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」の医師会員が7.9万人増加し20.4万人となりました。「MDLinx」の医師会員は、前期比で63%の増加となっており、この会員基盤を活かした製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開が順調に進んでいます。

また、平成23年8月に英国において18万人以上の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を運営するDoctors.net.uk Limited（以下「DNUK」という）を連結子会社とし、英国での製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開を開始しました。さらに、日本、米国、欧州、中国及び韓国に跨る100万人を超える医師パネルを構築し、医療分野においてグローバルな調査サービスの提供を開始する等、調査サービスも拡大しています。

当社では、経営基盤を強化し新たな事業展開に備えるために、利益を内部留保し再投資することを基本方針としつつ、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを総合的に勘案し、株主配当の水準を決定しております。平成24年3月期については、利益還元としての株主配当を実施できる状況にあると判断いたしましたので、1株当たり期末配当金を2,500円といたしました。

当連結会計年度の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	比較増減	
売上高	14,646	19,040	+4,394	+30.0%
営業利益	6,031	7,648	+1,616	+26.8%
経常利益	6,143	7,695	+1,552	+25.3%
当期純利益	3,486	4,492	+1,006	+28.9%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

		前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	比較増減	
医療ポータル	セグメント売上高	11,193	13,281	+2,087	+18.7%
	セグメント利益	6,483	7,625	+1,141	+17.6%
エビデンスソリューション	セグメント売上高	1,860	2,321	+461	+24.8%
	セグメント利益	△58	423	+481	—
海外	セグメント売上高	1,585	2,983	+1,398	+88.2%
	セグメント利益	55	138	+83	+150.3%
その他	セグメント売上高	310	737	+426	+137.4%
	セグメント利益	190	76	△114	△60.0%
消去又は全社	セグメント売上高	(302)	(282)	—	—
	セグメント利益	(527)	(566)	—	—
合計	売上高	14,646	19,040	+4,394	+30.0%
	経常利益	6,143	7,695	+1,552	+25.3%

### ①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、8,084百万円（前期比15.3%増）となりました。eディテール（会員向けに配信したメッセージ）量が伸びたこと等により、「MR君」サービスの売上高が前期比15%増となったこと等により、全体としては前期比15.3%の増収となりました。

調査分野の売上高は1,470百万円（前期比29.2%増）となりました。製薬会社の需要増加と企画型調査の拡大等の要因により好調に推移しました。

その他分野の売上高は、3,727百万円（前期比22.5%増）となりました。エムスリーキャリアにおける医師、薬剤師向け人材紹介事業及び求人広告事業が好調に推移しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、13,281百万円（前期比18.7%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、エムスリーグループ業容拡大に伴う人件費増加及びサービス拡大に伴う会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、5,609百万円（前期比20.1%増）となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は7,625百万円（前期比17.6%増）となりました。

### ②エビデンスソリューション

エビデンスソリューションセグメントにおいては、一部既存の大規模臨床試験が計画通り終息に向かっているものの、大型プロジェクトの進捗に加え、メディカル・パイロット及びフジ・シー・アール・エスが新たに連結子会社に加わったことにより、売上高2,321百万円（前期比24.8%増）となりました。また、構造改革の進展によるコスト削減や、エムスリーとメビックスのシナジー効果が順調に拡大したこと等により、セグメント利益は423百万円（前期比481百万円改善）となりました。

### ③海外

米国子会社M3 USA CorporationにEMS Research及びDNUKを加えた米英の売上高は、「M3 Messages」及び「MDLinx Clicks」等の製薬会社向けマーケティング支援サービスの拡大とEMS Research及びDNUKが新たに連結子会社に加わったことにより、2,852百万円（前期比95.3%増）となりました。韓国においても順調に事業が推移した結果、為替変動のマイナスの影響（220百万円）を吸収し、海外セグメントの売上高は2,983百万円（前期比88.2%増）となりました。

また、ドイツ子会社MedQuarter Onlineの損失及び「M3 Messages」サービスをはじめとする業容拡大等のための費用の増加を増収により吸収し、海外セグメントの利益は138百万円（前期比150.3%増）となりました。なお、MedQuarter Onlineについては、事業展開のペースが設立当初の想定を下回る状況が続き、早期の黒字化の見通しが立たないため、平成23年8月をもって業務を停止しました。

#### ④その他

その他セグメントの売上高は、アイチケットのサービス拡大の他、リノ・メディカル及びエムプラスを新たに連結子会社としたこと等により、売上高737百万円（前期比137.4%増）となりました。また、投資有価証券売却益が減少したこと及び新たに連結子会社となったエムプラスの事業立ち上げに伴う損失等により、セグメント利益は76百万円（前期比60.0%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は19,040百万円（前期比30.0%増）、営業利益は7,648百万円（前期比26.8%増）、経常利益は7,695百万円（前期比25.3%増）、当期純利益は4,492百万円（前期比28.9%増）となりました。

#### (2) 資金調達の状況

当連結会計年度においては、特に記載すべき事項はありません。

#### (3) 設備投資の状況

当連結会計年度において実施しました当社グループの設備投資の総額は292百万円で、その主なものは事務所移転による造作及び事業拡大と安定化のためのソフトウェア投資です。

#### (4) 重要な組織再編等

平成23年4月28日に、当社がリノ・メディカル株式会社の株式を100%、株式会社エムプラス（旧 学会研究会jp株式会社）の株式を50.0%取得した結果、リノ・メディカル株式会社及び株式会社エムプラスは当社の連結子会社になりました。

平成23年8月23日に、当社の100%子会社であるM3 USA CorporationがDoctors.net.uk Limitedの株式を100%取得した結果、Doctors.net.uk Limitedは当社の連結子会社になりました。

平成23年9月1日に、当社が株式会社メディカル・パイロットの株式を100%取得した結果、株式会社メディカル・パイロットは当社の連結子会社になりました。

平成23年12月22日に、当社が株式会社フジ・シー・アール・エスの株式を100%取得した結果、株式会社フジ・シー・アール・エスは当社の連結子会社になりました。

## (5) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

## ① 当社グループの財産及び損益の状況

	第9期 平成21年3月期	第10期 平成22年3月期	第11期 平成23年3月期	第12期 (当連結会計年度) 平成24年3月期
売上高 (千円)	8,534,933	11,811,960	14,646,737	19,040,810
経常利益 (千円)	4,170,963	4,858,365	6,143,626	7,695,899
当期純利益 (千円)	2,363,272	2,956,067	3,486,762	4,492,941
1株当たり当期純利益 (円)	4,524.29	5,648.05	6,655.07	8,530.28
総資産 (千円)	12,542,583	16,283,741	17,786,127	23,017,946
純資産 (千円)	10,214,827	12,275,336	13,708,125	17,480,532

(注) 1 当社は、平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。各期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しています。

2 各期の期中平均株式数は下記のとおりです。

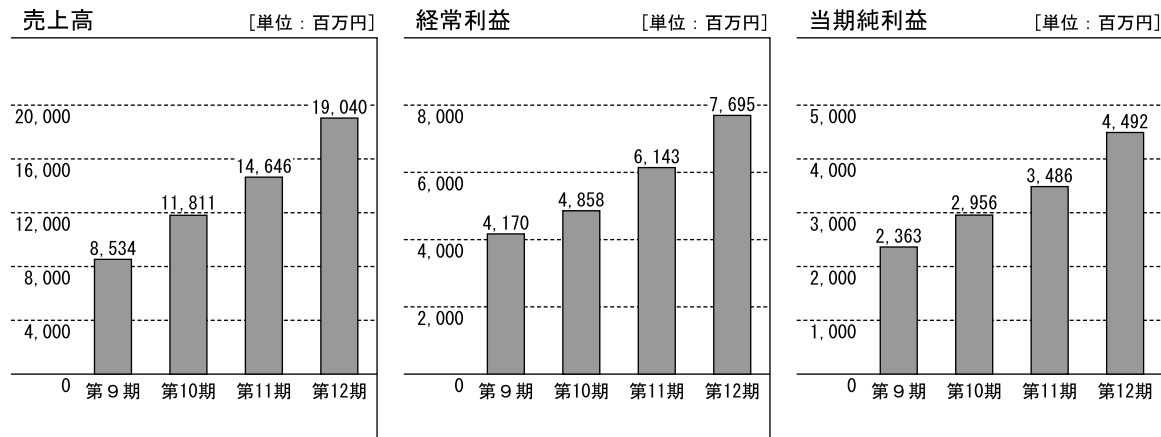
	第9期	第10期	第11期	第12期
期中平均株式数	522,352株	523,378株	523,926株	526,705株

第12期（当連結会計年度）に行われた株式分割については、各期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しています。

3 第11期において、連結子会社であるメビックス株式会社が実施した過年度決算の訂正を発端として、金融商品取引法上、過年度決算訂正を実施いたしました。この過年度決算訂正への対応として、第11期の純資産は利益剰余金期首残高を1,017,176千円減少させております。なお、金融商品取引法に基づく有価証券報告書においては、決算数値を遡及的に訂正しており、第10期を遡及修正した場合の数値は以下のとおりです。

	第10期 平成22年3月期
売上高 (千円)	11,811,960
経常利益 (千円)	4,851,098
当期純利益 (千円)	1,938,891
1株当たり当期純利益 (円)	3,704.57
総資産 (千円)	15,266,565
純資産 (千円)	11,258,160





(注) 第10期の金額につきましては、第10期の定時株主総会でご報告した事業報告の金額に基づき表示しております。

## ②当社の財産及び損益の状況

	第9期 平成21年3月期	第10期 平成22年3月期	第11期 平成23年3月期	第12期 (当事業年度) 平成24年3月期
売上高 (千円)	7,585,599	9,017,199	10,215,160	11,597,823
経常利益 (千円)	4,384,089	5,165,679	5,923,448	6,713,359
当期純利益 (千円)	2,415,543	3,111,167	3,370,096	3,872,636
1株当たり当期純利益 (円)	4,624.36	5,944.40	6,432.39	7,352.57
総資産 (千円)	12,528,084	15,021,523	16,653,050	20,287,158
純資産 (千円)	10,450,930	12,466,944	14,229,606	17,147,238

- (注) 1 当社は、平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。各期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しています。
- 2 第11期において、連結子会社であるメビックス株式会社が実施した過年度決算の訂正を発端として、金融商品取引法上、過年度決算訂正を実施いたしました。この過年度決算訂正への対応として、第11期の純資産は繰越利益剰余金期首残高を598,875千円減少させております。なお、金融商品取引法に基づく有価証券報告書においては、決算数値を遡及的に訂正しており、第10期を遡及修正した場合の数値は以下のとおりです。

	第10期 平成22年3月期
売上高 (千円)	9,017,199
経常利益 (千円)	5,165,679
当期純利益 (千円)	2,512,291
1株当たり当期純利益 (円)	4,800.15
総資産 (千円)	14,388,288
純資産 (千円)	11,868,068

## (6) 対処すべき課題

当社グループでは、対処すべき課題として以下の項目に取り組んでいます。

### ①継続的な成長の実現

現在、当社グループの事業は、医療従事者専門サイト「m3.com」の運営と、このサイトを通じて繋がる22.3万人の医師会員を含む、医療従事者会員へのアクセスを中核に展開しています。

「m3.com」は、「医師をはじめとする医療従事者が、『欲しい!』と思った情報に、最も迅速かつ確にたどりつけるサイト」を目指し、専門医療情報に特化したニュース、サーチエンジン、ディレクトリ、文献検索、会員専用コミュニティサイト、独自コンテンツ等を会員に対して無料で提供しています。

この「m3.com」の会員を基盤として、当社グループでは、医療従事者を顧客とする製薬会社、医療機器会社等の医療関連会社に向けて、「MR君」をはじめとしたインターネットを活用したマーケティング活動を支援するサービスを開発、提供しています。また、「m3.com」「MR君」等によって築いた経営資源や事業基盤を活用し、調査サービス、医療情報以外のライフサポート情報等を提供する「QOL君」をはじめとした一般企業向けサービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(<http://www.AskDoctors.jp/>)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon 女性の医学」(<http://askmn.jp/>)、最新の心理学をベースとした心の健康管理サイト「AskMind ★ココロ日記」(<http://askmd.jp/>)、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」等、新規サービスの拡充も進めています。

さらに、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社に加えて、平成23年4月には医療用医薬品に関する広告代理店であるリノ・メディカル株式会社及び200以上の医療系学術団体が利用する会員制コミュニティサイト「学会研究会.jp」を運営する株式会社エムプラス(旧 学会研究会.jp株式会社)の2社を、平成23年9月には首都圏を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社メディカル・パイロットを、平成23年12月には近畿、中国地方を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社フジ・シー・アール・エスを新たに連結子会社とする等、グループ会社も拡大しています。

今後も、引き続き、次の4項目での成長、展開に重点を置いた経営を進めていきます。

— 「m3.com」サイトの一層の価値向上

サイトの内容、機能の充実を進め、より多くの医療従事者会員からの、より多くのトラフィックを獲得することで、この「場」を活かして提供する他の様々なサービスの価値を底上げしていきます。

—「MR君」等マーケティング支援サービスの更なる成長

既存顧客における利用量拡大と新規顧客の開拓に向けて、経営資源を投入していきます。

—新規事業の立ち上げ

「双方向コミュニケーションで繋がった、医師をはじめとする医療従事者会員」の基盤から生み出される事業機会は数多く、優先順位を決めて順次事業化を進めていきます。

また、グループ各社の事業拡大とグループ内シナジー効果の最大化を図ります。

—海外展開

「MR君」は当社グループが独自に開発したサービスで、海外にも類似のものは見当たりません。そこで、医薬品の処方に関して日本と同様の制度を持つ国、市場に対して、このサービスの海外展開を進めています。

米国では、米国子会社M3 USA Corporationにおいて、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」を運営しており、平成20年6月より、「MR君」の米国版である「M3 Messages」の本サービスを開始しました。

また、平成22年11月には、ヨーロッパの医師パネルを保有する英国の市場調査会社EMS Research Limitedを子会社とし、グローバルな調査体制を構築しました。

さらに、平成23年8月に英国において18万人以上の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を運営するDoctors.net.uk Limitedを子会社とし、英国での製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開を開始しました。

なお、上記の各分野における成長を具現化、促進する手段として、当社グループでは必要に応じて提携、買収、資本参加を進めていきます。

## ②リスクマネジメント

当社グループの事業運営に影響を持ち得る、事業環境、コンプライアンスなどの様々な側面でのリスク要因の、経営への影響を最小化すべく、予防的措置に取り組みます。

## (7) 当社グループの主要な事業セグメント（平成24年3月31日現在）

当社グループの事業は、医療従事者専門サイト「m3.com」の運営と、このサイトを通じて繋がる22.3万人の医師会員を含む、医療従事者会員へのアクセスを中核に展開しています。

### ①医療ポータル

分野	主要サービス	主要サービスの内容
医療関連会社 マーケティング 支援	「MR君」サービス	製薬会社のMR(医薬情報担当者)等による医師への情報提供をサポートする、インターネットを活用した双方向のコミュニケーションプラットフォームの提供。
	m3.com提携企業サービス	医療関連会社向けに「m3.com」上に設けた情報掲載スペース、専用検索エンジンに連動したバナー表示などのサービスを提供。さらにオプションとして「m3MT」のサービス名称で「m3.com」会員向けのメール広告等の様々なマーケティングツールを提供。
調査	受注型調査サービス	医療従事者を対象とした、個別受注型調査の実施。
	定型調査サービス	当社で企画、実施し、複数のクライアントに販売する調査サービス。
その他	一般企業向けマーケティング支援サービス	会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」等の一般企業向けサービスの提供。
	m3.com開業・経営サービス	開業準備医師向けの情報や開業後の診療所の経営支援情報を「m3.com」上で提供し、診療所の経営をサポート。
	コンシューマー向けサービス	一般の方々からの健康や疾病に関する様々な質問に対して「m3.com」登録医師が回答する、ネット上の掲示板方式Q&Aサイト「AskDoctors」、「AskMoon 女性の医学」、「AskMind★ココロ日記」の運営。
	「治験君」サービス	「m3.com」上で治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス。
	医療従事者等向け人材サービス	医師、薬剤師向けの求人求職支援サービス。人材紹介、「m3.com CAREER」等への求人広告掲載等。
	有料コンテンツ販売	医薬品便覧や医学辞典等電子コンテンツの会員医師への販売。

### ②エビデンスソリューション

主要サービス	主要サービスの内容
大規模臨床研究支援	臨床試験支援システム「CapTool」を活用した、臨床データ取得、データマネジメント、統計解析業務等の臨床研究の支援。
SMO事業	治験実施医療機関における治験業務全般の管理・運営の支援。

### ③海外

主要サービス	主要サービスの内容
マーケティング支援	海外におけるインターネットを利用した製薬会社等の営業、マーケティング支援事業等の提供。
調査	海外における医療従事者を対象とした調査サービス。

(8) 当社グループの主要拠点等（平成24年3月31日現在）

当社本社	東京都港区	
国内子会社	メビックス株式会社	(東京都港区)
	クリニカルポーター株式会社	(東京都港区)
	株式会社メディカル・パイロット	(東京都新宿区)
	株式会社フジ・シー・アール・エス	(兵庫県神戸市)
	リノ・メディカル株式会社	(東京都港区)
	アイチケット株式会社	(東京都港区)
	エムスリーキャリア株式会社	(東京都港区)
	株式会社エムプラス	(東京都渋谷区)
海外子会社	M3 USA Corporation	(米国)
	EMS Research Limited	(英国)
	Doctors.net.uk Limited	(英国)
	Medi C&C Co., Ltd.	(韓国)

(9) 当社グループの使用人の状況（平成24年3月31日現在）

① 当社グループの使用人の状況

使用人数	前連結会計年度末比増減
540名	+208名

- (注) 1 使用人数には、当社グループ外から当社グループへの出向者を含みます。  
2 上記使用人のほか、連結会計年度末日現在において169名の臨時従業員がおります。  
3 使用人数が当連結会計年度において208名増加しておりますが、うち170名はリノ・メディカル株式会社、株式会社エムプラス、株式会社メディカル・パイロット、株式会社フジ・シー・アール・エス及びDoctors.net.uk Limitedを新たに連結子会社としたことによるものです。

② 当社の使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続月数
130名	+19名	33.7歳	32.7ヶ月

- (注) 1 使用人数には、社外から当社への出向者を含みます。  
2 上記使用人のほか、事業年度末日現在において34名の臨時従業員がおります。  
3 平均勤続月数については、親会社からの転入者の場合、当社グループに在籍した月数を採用しております。

(10) 重要な親会社及び子会社の状況（平成24年3月31日現在）

① 親会社の状況

会社名	持株数	議決権比率	取引関係等
ソニー株式会社（注）	間接 295,636株	55.9%	—
ソネットエンタテインメント株式会社	直接 295,636株	55.9%	コンテンツ制作業務の受託等 役員の兼任 1名

- (注) ソネットエンタテインメント株式会社の発行済株式数の58.2%を保有している親会社です。（45.6%を直接保有、12.6%を、100%子会社である株式会社ソニーファイナンスインターナショナルを通じて保有）

## ②子会社の状況

会社名	資本金	議決権比率 (注1)	主要な事業内容
M3 USA Corporation	500千米ドル	100.0%	(海外) 米国におけるインターネットを利用した製薬会社等の営業・マーケティング支援事業
EMS Research Limited	1,000 英ポンド	100.0% (100.0%)	(海外) 欧州における調査事業
Doctors.net.uk Limited	7,615 千英ポンド	100.0% (100.0%)	(海外) 欧州におけるインターネットを利用した製薬会社等の営業・マーケティング支援事業
MedQuarter Online GmbH	25,000 ユーロ	100.0%	(海外) 欧州におけるインターネットを利用した製薬会社等の営業・マーケティング支援事業
メビックス株式会社	50百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 大規模臨床研究支援事業
クリニカルポーター株式会社	10百万円	100.0% (100.0%)	(エビデンスソリューション) 大規模臨床研究支援事業
株式会社メディカル・パイロット	30百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 治験実施医療機関における治験業務全般の管理・運営支援事業
株式会社フジ・シー・アール・エス	20百万円	100.0%	(エビデンスソリューション) 治験実施医療機関における治験業務全般の管理・運営支援事業
リノ・メディカル株式会社	10百万円	100.0%	(その他) 医療用医薬品に関する広告代理店事業
アイチケット株式会社	30百万円	62.3%	(その他) 情報通信ネットワークを利用した医療機関向け各種情報提供サービス事業
エムスリーキャリア株式会社	50百万円	51.0%	(医療ポータル) 医療従事者及び関連人材を対象とした人材サービス事業
株式会社エムプラス (注2)	30百万円	50.0%	(その他) 学会・研究会の会員制コミュニティサイトの運営事業
Medi C&C Co., Ltd. (注2)	1,833,335 千ウォン	40.0% (20.0%)	(海外) 韓国におけるインターネットを利用した製薬会社等の営業・マーケティング支援事業

(注) 1 議決権比率の( )内は、間接所有割合です。

2 議決権の所有割合は100分の50以下ですが、実質的に支配しているため子会社としたものです。

(11) 主要な借入先及び借入額

当連結会計年度においては、特に記載すべき事項はありません。

(12) 剰余金の配当等を取締役会が決定する旨の定款の定めがあるときの権限の行使に関する方針

当社では、経営基盤を強化し新たな事業展開に備えるために、利益を内部留保し再投資することを基本方針とした上で、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況を勘案し、株主配当の水準を決定しております。

今期においては、投資資金需要の見通しを踏まえた上で、利益還元としての株主配当を実施できる状況にあると判断いたしましたので、平成24年3月期の1株当たり期末配当金を2,500円といたしました。

次期においても上述の方針に基づき、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

## 2. 株式に関する事項（平成24年3月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 1,920,000株  
 (2) 発行済株式の総数 528,628株  
 (3) 株主数 6,971名  
 (4) 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
ソネットエンタテインメント株式会社	295,636 株	55.9 %
谷村 格	25,604	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	25,579	4.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,799	4.3
TAIYO FUND, L.P.	12,937	2.4
ビービーエイチ オープンハイマー グローバル オポチュニ ティーズ ファンド	8,000	1.5
資産管理サービス信託銀行株式会社	5,508	1.0
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	5,149	1.0
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー アカウント	4,943	0.9
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ フィ デリティ ファンズ	4,666	0.9

(注) 上記の持株数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりです。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	25,408株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,522株
資産管理サービス信託銀行株式会社	5,394株



### 3. 新株予約権等に関する事項

#### (1) 当事業年度の末日に当社役員が有する職務執行の対価として交付された新株予約権等の内容の概要

名称	第1回新株予約権	第5回新株予約権	第7回新株予約権
発行決議の日	平成16年6月11日	平成17年8月29日	平成18年3月22日
新株予約権の数	60個	4個	144個
保有人数			
取締役 (社外取締役を除く)	1名	1名	4名
社外取締役	一名	一名	一名
監査役	一名	一名	一名
新株予約権の目的となる株式の種類及び数	普通株式 720株	普通株式 16株	普通株式 576株
新株予約権の発行価額	無償	無償	無償
新株予約権の権利行使価額	1株当たり 17,784円	1株当たり 189,163円	1株当たり 280,575円
新株予約権の行使期間	平成18年7月1日～ 平成26年5月31日	平成19年8月29日～ 平成27年5月31日	平成20年3月22日～ 平成27年5月31日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額	発行価格 17,784円 資本組入額 8,892円	発行価格 189,163円 資本組入額 94,582円	発行価格 280,575円 資本組入額 140,288円
新株予約権の行使の条件	①当社普通株式にかかる株券が東京証券取引所に上場され、またはいずれかの証券取引所に上場されている場合（これらの場合を「株式の公開」という。）に限り、新株予約権を行使することができるものとします。 ②各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ③これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。
有利な条件の内容	無償発行	無償発行	無償発行

名称	第8回新株予約権	第10回新株予約権	第12回新株予約権
発行決議の日	平成18年4月24日	平成20年8月27日	平成21年8月25日
新株予約権の数	18個	130個	86個
保有人数			
取締役 (社外取締役を除く)	1名	4名	7名
社外取締役	一名	一名	一名
監査役	一名	一名	一名
新株予約権の目的となる株式の種類及び数	普通株式 72株	普通株式 260株	普通株式 172株
新株予約権の発行価額	無償	無償	無償
新株予約権の権利行使価額	1株当たり 273,773円	1株当たり 202,659円	1株当たり 1円
新株予約権の行使期間	平成20年4月24日～ 平成27年5月31日	平成22年8月27日～ 平成30年5月31日	平成23年7月1日～ 平成51年5月31日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額 (注)	発行価格 273,773円 資本組入額 136,887円	発行価格 302,287円 資本組入額 151,144円	発行価格 132,104円 資本組入額 66,052円
新株予約権の行使の条件	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。
有利な条件の内容	無償発行	無償発行	無償発行

名称	第13回新株予約権	第15回新株予約権
発行決議の日	平成23年1月25日	平成23年8月23日
新株予約権の数	110個	65個
保有人数		
取締役 (社外取締役を除く)	7名	7名
社外取締役	一名	一名
監査役	一名	一名
新株予約権の目的となる株式の種類及び数	普通株式 220株	普通株式 130株
新株予約権の発行価額	無償	無償
新株予約権の権利行使価額	1株当たり 1円	1株当たり 1円
新株予約権の行使期間	平成24年7月1日～ 平成52年5月31日	平成25年7月1日～ 平成53年5月31日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(注)	発行価格 182,176円 資本組入額 91,088円	発行価格 314,736円 資本組入額 157,368円
新株予約権の行使の条件	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。
有利な条件の内容	無償発行	無償発行

(注) 1 新株予約権の発行価格は、行使時の払込金額と新株予約権の付与日における公正な評価額を合算しています。

	行使時の払込金額	付与日における公正な評価額
第10回新株予約権	202,659円	99,628円
第12回新株予約権	1円	132,103円
第13回新株予約権	1円	182,175円
第15回新株予約権	1円	314,735円

2 当社は、平成17年5月16日付で株式1株につき3株、平成17年11月21日付で株式1株につき2株、及び平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の権利行使価額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格、資本組入額、行使時の払込金額及び付与日における公正な評価額は、当該株式分割を反映して算定しています。

(2) 当事業年度中に当社使用人、子会社役員及び使用人に対して職務執行の対価として交付された新株予約権等の状況

名称	第15回新株予約権	
発行決議の日	平成23年8月23日	
新株予約権の数	20個	
付与された者の人数		
当社使用人	2名	
当社の子会社の役員及び使用人	2名	
新株予約権の目的となる株式の種類及び数	普通株式	40株
新株予約権の発行価額	無償	
新株予約権の権利行使価額	1株当たり	1円
新株予約権の行使期間	平成25年7月1日～ 平成53年5月31日	
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額（注）	発行価格	314,736円
	資本組入額	157,368円
新株予約権の行使の条件	①各新株予約権の一部行使はできないものとします。 ②これらの詳細条件及びその他の条件については、定時株主総会決議及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当を受けるものとの間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるものとします。	
有利な条件の内容	無償発行	

(注) 1 新株予約権の発行価格は、行使時の払込金額と新株予約権の付与日における公正な評価額を合算しています。

	行使時の払込金額	付与日における公正な評価額
第15回新株予約権	1円	314,735円

- 2 当社は、平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の権利行使価額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格、資本組入額、行使時の払込金額及び付与日における公正な評価額は、当該株式分割を反映して算定しています。

#### 4. 会社役員に関する事項

##### (1) 取締役及び監査役の状況（平成24年3月31日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	谷 村 格	M3 USA Corporation 取締役 エムスリーキャリア株式会社 取締役 リノ・メディカル株式会社 取締役 Doctors.net.uk Limited 取締役 株式会社メディカル・パイロット 取締役 株式会社フジ・シー・アール・エス 取締役
取締役	西 章 彦	Medi C&C Co., Ltd. 取締役
取締役	永 田 朋 之	MedQuarter Online GmbH 代表取締役 株式会社エムプラス 取締役
取締役	中 條 幸	エムスリーキャリア株式会社 取締役
取締役	横 井 智	株式会社エムプラス 取締役
取締役	辻 高 宏	—
取締役	吉 田 憲 一 郎	ソネットエンタテインメント株式会社 代表取締役社長 株式会社アクトビラ 取締役
取締役	吉 田 裕 彦	メビックス株式会社 代表取締役 株式会社メディカル・パイロット 取締役 株式会社フジ・シー・アール・エス 取締役
常勤監査役	堀 野 信 人	—
監査役	遠 山 亮 子	中央大学大学院戦略経営研究科 教授
監査役	渡 邊 寿 幸	ソネットエンタテインメント株式会社 内部監査部部長

- (注) 1 監査役 堀野信人、遠山亮子は、社外監査役です。  
2 監査役 鈴木亜希子は、平成23年6月20日開催の第11回定時株主総会終結の時をもって辞任しました。

##### (2) 取締役及び監査役の報酬等

###### 当事業年度に係る報酬等の総額

区 分	報酬等の総額		うち社外役員分	
	人数	金額	人数	金額
取締役	7名	260,522千円	—	—
監査役	3名	15,600千円	3名	15,600千円
計	10名	276,122千円	3名	15,600千円

- (注) 1 平成22年6月21日開催の第10回定時株主総会の決議による取締役の報酬限度額は、年額500百万円です。また、平成16年6月9日開催の第4回定時株主総会の決議による監査役の報酬限度額は、年額50百万円です。  
2 上記には、平成23年6月20日開催の第11回定時株主総会終結の時をもって辞任した監査役1名を含めております。  
3 上記報酬等の額には、ストックオプションによる報酬39,340千円（取締役7名に対して39,340千円）を含めております。  
4 期末日現在の人員は、取締役8名、監査役3名ですが、取締役1名及び監査役1名には報酬は支払っておりません。

### (3) 社外役員に関する事項

#### ①社外役員の重要な兼職の状況等

監査役 遠山亮子は、中央大学大学院戦略経営研究科の教授です。当社と中央大学との間に重要な取引等はありません。

#### ②社外役員の主な活動状況

区分	氏名	主な活動状況
社外監査役	堀野 信人	監査役就任以降に開催した取締役会及び監査役会の全てに出席しました。適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行っております。
社外監査役	遠山 亮子	当事業年度開催の取締役会12回のうち10回に出席し、監査役会13回のうち11回に出席しました。適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行っております。

#### ③責任限定契約の内容の概要

当社と各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が定める額としております。なお、当該責任限定が認められるのは、当該社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限られます。

## 5. 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

あらた監査法人

### (2) 会計監査人に対する報酬等の額

①当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	41,400千円
②当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他財産上の利益の合計額	41,400千円

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記①の金額にはこれらの合計額を記載しています。

### (3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### (4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められる場合、監査役会は、監査役全員の同意により解任いたします。

また、上記の場合のほか、会計監査人の適格性、独立性を害する事由の発生により、適正な監査の遂行が困難であると認められる場合、取締役は監査役会の同意を得て、または監査役会の請求により、会計監査人の不再任を株主総会に提案いたします。

(注) 本事業報告中の記載金額は、表示単位未満を切り捨て、比率その他については四捨五入により表示しています。

## 【 連結計算書類 】

### 連結貸借対照表（平成24年3月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>〔資産の部〕</b>		<b>〔負債の部〕</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>14,818,458</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>5,094,174</b>
現金及び預金	10,167,541	買掛金	481,343
受取手形及び売掛金	3,609,928	未払法人税等	1,963,472
商 品	2,605	賞与引当金	108,729
仕 掛 品	89,325	ポイント引当金	806,102
原材料及び貯蔵品	50,063	その他の引当金	49,959
繰延税金資産	550,352	未払費用	815,433
前払費用	213,944	未払消費税等	221,012
そ の 他	175,048	前受金	469,395
貸倒引当金	△40,351	そ の 他	178,726
<b>固 定 資 産</b>	<b>8,199,488</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>443,239</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>289,413</b>	退職給付引当金	12,998
建 物	167,104	繰延税金負債	71,435
器 具 ・ 備 品	120,215	そ の 他	358,805
そ の 他	2,094	<b>負 債 合 計</b>	<b>5,537,414</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>5,631,154</b>	<b>〔純資産の部〕</b>	
ソフトウェア	247,628	<b>株 主 資 本</b>	<b>16,592,214</b>
の れ ん	4,778,174	資 本 金	1,280,488
そ の 他	605,351	資 本 剰 余 金	1,508,881
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,278,920</b>	利 益 剰 余 金	13,802,845
投資有価証券	1,649,097	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>320,927</b>
長期貸付金	124,374	その他有価証券評価差額金	276,301
敷金及び保証金	374,293	為替換算調整勘定	44,626
繰延税金資産	55,546	<b>新 株 予 約 権</b>	<b>105,079</b>
そ の 他	199,982	<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>462,310</b>
貸倒引当金	△124,374	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>17,480,532</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>23,017,946</b>	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>23,017,946</b>

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

（単位：千円）

科 目	金 額	
<b>売上高</b>		<b>19,040,810</b>
売上原価		4,781,154
<b>売上総利益</b>		<b>14,259,655</b>
販売費及び一般管理費		6,611,171
<b>営業利益</b>		<b>7,648,484</b>
営業外収益		
受取利息	25,401	
投資有価証券売却益	29,824	
持分法による投資利益	51,897	
条件付取得対価に係る公正価値の変動益	41,806	
その他	36,335	185,265
営業外費用		
為替差損	45,807	
事務所移転費用	77,693	
その他	14,349	137,851
<b>経常利益</b>		<b>7,695,899</b>
特別利益		
持分変動利益	4,071	
負ののれん発生益	35,012	
その他	2,280	41,364
特別損失		
持分変動損失	503	
子会社清算損	3,907	4,411
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>7,732,852</b>
法人税、住民税及び事業税	3,202,825	
法人税等調整額	△117,197	3,085,627
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>		<b>4,647,224</b>
少数株主利益		154,282
<b>当期純利益</b>		<b>4,492,941</b>

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



連結株主資本等変動計算書（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成23年4月1日残高	1,197,787	1,426,182	10,620,003	13,243,974
連結会計年度中の変動額				
新株の発行	82,700	82,698	—	165,399
剰余金の配当	—	—	△1,310,100	△1,310,100
当期純利益	—	—	4,492,941	4,492,941
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	82,700	82,698	3,182,841	3,348,240
平成24年3月31日残高	1,280,488	1,508,881	13,802,845	16,592,214

	その他の包括利益累計額			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
平成23年4月1日残高	129,332	△65,160	64,171	62,483	337,495	13,708,125
連結会計年度中の変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	165,399
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△1,310,100
当期純利益	—	—	—	—	—	4,492,941
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	146,969	109,787	256,756	42,595	124,814	424,166
連結会計年度中の変動額合計	146,969	109,787	256,756	42,595	124,814	3,772,406
平成24年3月31日残高	276,301	44,626	320,927	105,079	462,310	17,480,532

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 【 計算書類 】

### 貸借対照表（平成24年3月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>〔資産の部〕</b>		<b>〔負債の部〕</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>10,203,072</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>3,062,985</b>
現金及び預金	7,150,056	買掛金	143,051
受取手形及び売掛金	2,070,101	未払費用	203,284
仕掛品	67,361	未払法人税等	1,672,574
貯蔵品	49,725	未払消費税等	120,412
前払費用	13,856	前受金	102,800
繰延税金資産	474,528	賞与引当金	52,407
短期貸付金	359,969	ポイント引当金	738,467
その他	43,019	その他	29,987
貸倒引当金	△25,546	<b>固 定 負 債</b>	<b>76,934</b>
<b>固 定 資 産</b>	<b>10,084,085</b>	資産除去債務	76,934
<b>有形固定資産</b>	<b>205,702</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>3,139,919</b>
建物	160,723	<b>〔純資産の部〕</b>	
器具・備品	44,979	<b>株 主 資 本</b>	<b>16,765,561</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>134,208</b>	資本金	1,280,488
ソフトウェア	124,986	資本剰余金	1,508,881
ソフトウェア仮勘定	8,867	資本準備金	1,508,881
その他	355	利益剰余金	13,976,191
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,744,173</b>	その他利益剰余金	13,976,191
投資有価証券	797,691	繰越利益剰余金	13,976,191
関係会社株式	8,128,627	<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>276,597</b>
関係会社長期貸付金	261,881	その他有価証券評価差額金	276,597
長期前払費用	4,351	<b>新 株 予 約 権</b>	<b>105,079</b>
敷金及び保証金	352,778	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>17,147,238</b>
繰延税金資産	460,723	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>20,287,158</b>
貸倒引当金	△261,881		
<b>資 産 合 計</b>	<b>20,287,158</b>		

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

（単位：千円）

科 目	金 額	
売上高		11,597,823
売上原価		1,969,292
<b>売上総利益</b>		<b>9,628,531</b>
販売費及び一般管理費		2,949,086
<b>営業利益</b>		<b>6,679,445</b>
営業外収益		
受取配当金	44,261	
投資有価証券売却益	29,824	
受取賃貸料	15,241	
その他	17,145	106,472
営業外費用		
為替差損	24,604	
事務所移転費用	43,074	
その他	4,880	72,558
<b>経常利益</b>		<b>6,713,359</b>
特別利益		
新株予約権戻入益	116	116
<b>税引前当期純利益</b>		<b>6,713,475</b>
法人税、住民税及び事業税	2,903,027	
法人税等調整額	△62,189	2,840,838
<b>当期純利益</b>		<b>3,872,636</b>

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	
平成23年4月1日残高	1,197,787	1,426,182	11,413,655	14,037,625
事業年度中の変動額				
新株の発行	82,700	82,698	—	165,399
剰余金の配当	—	—	△1,310,100	△1,310,100
当期純利益	—	—	3,872,636	3,872,636
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	82,700	82,698	2,562,536	2,727,935
平成24年3月31日残高	1,280,488	1,508,881	13,976,191	16,765,561

	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金		
平成23年4月1日残高	129,497	62,483	14,229,606
事業年度中の変動額			
新株の発行	—	—	165,399
剰余金の配当	—	—	△1,310,100
当期純利益	—	—	3,872,636
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	147,100	42,595	189,696
事業年度中の変動額合計	147,100	42,595	2,917,631
平成24年3月31日残高	276,597	105,079	17,147,238

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成24年5月18日

エムスリー株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 善場 秀明 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、エムスリー株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、エムスリー株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成24年5月15日付で株式会社メディサイエンスプランニングとの間で資本および業務提携契約を締結し、平成24年5月18日付で同社株式を取得した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

独立監査人の監査報告書

平成24年5月18日

エムスリー株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員 公認会計士 善場 秀明 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、エムスリー株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第12期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成24年5月15日付で株式会社メディサイエンスプランニングとの間で資本および業務提携契約を締結し、平成24年5月18日付で同社株式を取得した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第12期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、当期の監査方針、監査計画等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所における業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人あつた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

##### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人あつた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成24年5月21日

エムスリー株式会社 監査役会

常勤監査役 堀野 信人 ㊟

監査役 遠山 亮子 ㊟

監査役 渡邊 寿幸 ㊟

(注) 監査役堀野信人及び監査役遠山亮子は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

以 上

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当金支払株主 確定日	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://corporate.m3.com/">http://corporate.m3.com/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

エムスリー株式会社

<http://corporate.m3.com/>